

# 高感度コロナ探知機 COM-1000FX

人間の身体においては予防医学というものが重要になってきており、電力機器においても大停電の事故などを教訓に大事故になる前の予防点検が重要になって来ると考えられます。事故が起こってから莫大な損失を考えると事前の予防点検がコストの面でもはるかに有利であることは言うまでもありません。高電圧機器を停止して点検することが不可能な場合には、部品の劣化、不良時に生じる発熱、コロナの発生状況を調べれば機器の状態を判断出来ると思われれます。

COM-1000FXは、本体を肩に掛け検出器を手で持って測定するタイプで、手で持つ負担を出来るだけ減らしたコロナ探知機です。COM-1000FXは、高圧送電線の碍子、配電盤などから発生するコロナを探知するモデルと油を充填した各種高圧トランスの内部のコロナを探知するモデルがあります。AC電源動作、急速充電回路と長時間バッテリーを内蔵して居りますので、長期間コロナの状態、不良箇所の探査観測に最適なコロナ探知機です。専用パソコンソフトはネットワークにも対応していますので事務所で現場の状況を監視することも可能で、またデジカメで点検現場の写真を取りとコロナのデータと合わせた点検報告書を作成する事も出来ます。

## 測定原理

各種高電圧機器の劣化、高電圧送電線の碍子の汚れ不良時にコロナと同時に微弱な超音波を発生します。その微弱な超音波を集音器付き検出器で高感度に探知して人間の耳に聞こえる様に変換し、コロナの発生量に応じて変化する超音波の強さをデジタル変換して液晶表示器に表示します。



油中コロナ探知機

COM-1000FXのモデルと機能  
MODEL 1 : コロナ探知機  
MODEL 2 : 油中コロナ探知機  
MODEL 3 : コロナ探知機 + 油中コロナ探知機



気中コロナ探知機

## コロナ探知機の測定例

高電圧碍子の絶縁調査      配電盤内部の高電圧機器の劣化、不良箇所の調査      各種モータの劣化、不良の調査  
各種高圧トランスの劣化、不良の調査      コロナ放電を利用したイオン発生器の動作確認、他

## 油中コロナ探知機の測定例

油を充填した各種高圧トランスの劣化、不良の調査      密閉された機器内部のコロナ発生状況の調査

## 仕様

16桁2行キャラクターSTN液晶表示器	デジタル受信感度調整
超音波40KHz検出周波数	パソコンにリアルタイムデータを出力
データ収集・表示専用パソコンソフト	手動・自動メモリー機能
メモリーデータ参照機能	メモリーデータをパソコンに出力(エクセル処理可能)
専用プリンターにデジタル印字とアナログ記録	赤色レーザー(出力1mW以下)の目標選定(MODEL2は無し)
温度・湿度センサー付き(MODEL2は無し)	コロナ信号をBNCコネクターに出力
電源自動切断機能	CT、電圧など入力可能なオプションコネクター(特別仕様品)
消費電流      約200mA	信号音出力:ヘッドホンジャック出力(モノラル信号)
電源      2電源動作、DC12VACアダプター、急速充電回路内蔵、ニッケル水素電池(2500mAh)	
使用時間      1度の充電(最大4時間)で約10時間以上使用可能	
本体寸法      縦85×横140×奥行200mm(突起物は含まず)	
本体重量      約1.6Kg	
検出器寸法      コロナ探知機: 300×100mm(センサー取り外し時) 油中コロナ探知機: 50×64×40mm	
検出器重量      コロナ探知機: 約900g      油中コロナ探知機: 約100g	
付属品      専用アルミトランクケース、本体皮ケース、接続ケーブル、ヘッドホン、データ収集・表示専用パソコンソフト	
オプション      付属品内容はモデルにより多少異なり	
	専用プリンター

開発製造元      コムシステム株式会社

〒196-0003 東京都昭島市松原町2-3-17 橋本ビル  
TEL 042-543-9062      FAX 042-543-9570  
<http://www.com-system.co.jp/>      E-mail:com@com-system.co.jp